

SK-10型ミキサー 取扱説明書



注 意

1. 本装置の管理者は、担当者を限定し、担当者以外の者に操作をさせないでください。
2. 本装置の管理者・担当者は、この取扱説明書を読み、内容を理解してから装置を運転してください。



実績・技術・創意で応える

イセキミキサー株式会社

〒356-0054 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1396番地4号
TEL 049 (264) 0585 (代表) FAX 049 (264) 0587
大 阪 〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口3丁目4番27号
営業所 TEL 0798 (66) 9144 (代表) FAX 0798 (66) 9184

エスケーミキサー仕込み能力について

機種	ボウル容量	最大量 (小麦粉の量)	標準総生地量 (仕上生地量)
SK-10	10 ℓ	1kg	1.8kg
SK-20	20 ℓ	3kg	5.4kg
SK-30S SK-81S DTM-30	30 ℓ	5kg	9kg
SK-101S DTM-50	50 ℓ	10kg	18kg
SK-131S DTM-60	60 ℓ	13kg	23.4kg
SK-201 DTM-90	90 ℓ	20kg	36kg
SK-251	120 ℓ	25kg	45kg
SK-501	205 ℓ	50kg	90kg

表示の仕込量は、小麦粉 100 に対して吸水 62～70%、他に副資材を加える標準的な食パンの生地の場合の目安です。

攪拌可能な量は、同一機種であっても以下の要素により異なります。

- 吸水率（加水率）：
 - 60～55%の場合、表示の 80%量
 - 55～50%の場合、表示の 65%量
 - 50%以下の場合、表示の 50%量
 上記を目安にしてください。
- 粉質：強力粉の場合は表示の仕込量ですが、中力粉・薄力粉の場合は控え目の量にして下さい。
- ボウルの大きさ：同一機種で同量の生地を攪拌する場合でも、兼用ボウル（容量の小さいボウル）を使用した場合、ミキサーへの負担はより大きくなります。生地量にあったボウルを御利用ください。
- 運転速度：パン生地やパイ生地等の攪拌は一速、二速を使用してください。

※誤った使用は、機械の故障を招く原因になりますので十分注意して御使用下さい。

まえがき

- 本説明書は、このミキサーを安全に使用するための案内書です。
- このミキサーを使用する前に、必ず本説明書を読み内容を充分理解した上で使用してください。
- この説明書の中で、いろいろな場所に、下に示したような注意事項が記載されています。これらの表示は特に安全確保のための注意事項です。充分理解した上で操作・作業をしてください。



警 告

- このミキサーを本説明書の記載と異なった使い方をすると、重傷もしくは重大な事故が発生することがあります。
- 管理者および担当者は、このミキサーの操作または保守を行う前に、本説明書を必ず読んでください。
- 本説明書は、いつでも見ることができるよう、ミキサーの近くに保管してください。
- 本説明書を紛失または損傷した場合は、速やかに新しいものを購入してください。
- このミキサーを譲渡される場合は、次の所有者に、本説明書を必ず添付して譲渡してください。

安全上の注意事項

- 本取扱説明書および製品の警告ラベルを、より良く理解していただくために、警告表示の分類を以下のように使い分けております。これらの内容を理解し、指示を守ってください。

危険

この語は、回避されなければ、**死亡する、または重傷を負うであろう切迫した危険状態**の箇所の、安全上の注意事項および警告ラベルに使用しています。

これらの安全上の注意事項には、危険を回避するために講じなければならない予防処置も含まれています。

警告

この語は、回避されなければ、**死亡する、または重傷を負うことがあり得る潜在的な危険状態**の箇所の、安全上の注意事項および警告ラベルに使用しています。

これらの安全上の注意事項には、危険を回避するために講じなければならない予防処置も含まれています。

注意

この語は、回避されなければ、**軽傷を負う、または中程度の障害を生じることがあり得る潜在的な危険状態**の箇所の、安全上の注意事項および警告ラベルに使用しています。

これらの安全上の注意事項には、危険を回避するために講じなければならない予防処置も含まれています。

これらの警告ラベルは、常にはっきりと見えるようにしておかねばなりません。もしラベルがはがれたり、汚損した場合は、当社または当社代理店にご連絡ください。

ミキサーの運転操作

警告

- 回転中に手を入れると巻き込まれや挟まれによる重傷の恐れあり。
- ミキサーの偏心回転部・攪拌子に手や衣服・投入材料の袋等を巻き込まれたり、攪拌子とボウルの間に挟まれて重傷を負う恐れがあります。

※安全ガード

- ミキサーの稼働中に、作業者の手や衣服・投入材料の袋などの巻き込まれや挟まれ事故防止のために、取り付けられています。
- 安全ガードが閉じている時のみ、回転します。
- 回転中に安全ガードを開けると、回転は停止します。安全ガードを閉じると、再び回転がはじまります。

安全表示ラベルの種類と表示位置

①「巻き込まれ」についての警告



②「感電の恐れ有り」の警告



③「アースを接続」の指示



SK-10型ミキサー 取扱説明書

<も く じ>

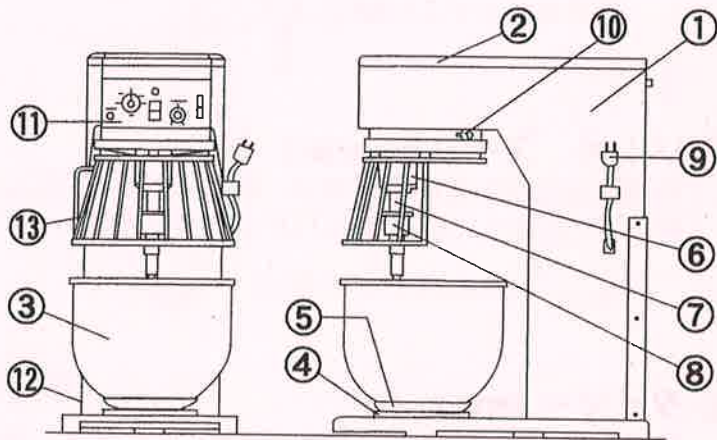
1. 仕様	6
2. 各部の名称	6
3. 操作パネル各部の名称と働き	6
4. 攪拌子の取付けおよび取外し	8
5. ボウルの脱着方法	8
6. 運転方法	9
7. 運転終了	9
8. その他	9

1. SK-10仕様

電源電圧	単相 100V 50/60Hz
攪拌モーター	750W 減速比 1:10
攪拌軸回転数	0~380rpm (無段変速/連続可変)
回転制御	インバータによる回転数制御
タイマー設定	0~15分
ボウルの容量	10ℓ
本体の大きさ	巾290mm×奥行530mm×高さ630mm
本体重量	62kg

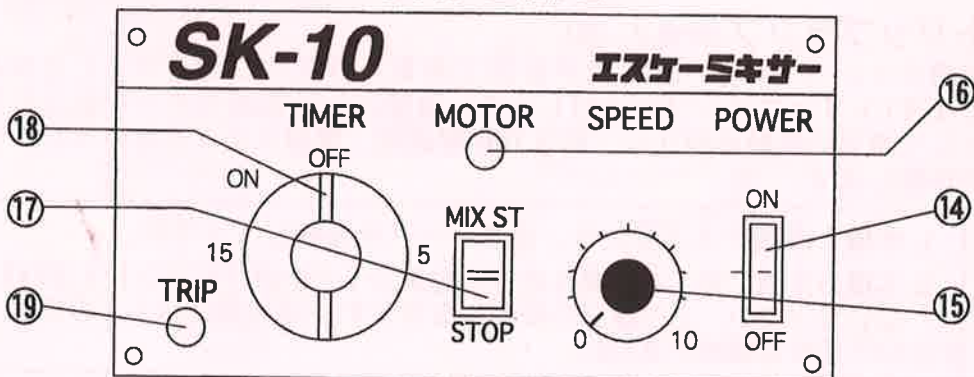
2. 各部の名称

- ① ボディー
- ② 上蓋
- ③ ボウル
- ④ ボウルメス座
- ⑤ ボウルオス座
- ⑥ 偏芯金物
- ⑦ 攪拌軸
- ⑧ ホルダー
- ⑨ 電源コード
- ⑩ グリスカップ
- ⑪ 操作パネル
- ⑫ アースターミナル
- ⑬ 安全カバー



(付図-1 各部の名称)

3. 操作パネル各部の名称と働き



(付図-2 操作パネル)

① 電源スイッチ (付図-2 ⑭)

スイッチ「ON」でスイッチ内部のランプが点灯し本機に電源を供給します。
スイッチ「OFF」でランプは消灯し本機への電源の供給は停止されます。

② 速度設定ボリューム (付図-2 ⑮)

ツマミを時計方向に回転させると回転数を0から最大380回転まで自由に設定することができます。

(付図-5 のボリューム/攪拌軸回転表を参照)

③ モーターランプ (緑色) (付図-2 ⑯)

攪拌モーターが回転中を示す緑色のランプです。モーター回転と同時に点灯し、攪拌を停止すると消灯します。

④ MIX スイッチ (付図-2 ⑰)

時間設定と回転数の設定後に、同スイッチを「ST」にすると運転を開始します。
終了または停止の時には「STOP」にしてください。

⑤ タイマー (付図-2 ⑱)

攪拌時間の設定=1分~最大15分の時間設定、タイマー設定無し (ツマミをONの位置にします。) で長時間の連続運転する事が出来ます。

⑥ トリップランプ (付図-2 ⑲)

本機のインバータは、過負荷が要因で運転を自動的に停止することがあります(トリップランプが点灯します)。復帰方法は電源スイッチをOFFにして電気の供給を停止し、約30秒経過後、電源スイッチをONにして再始動します。

注
意

1. 本機を設置するときには、必ずアースを接続して下さい。
2. 本機の作動、停止の作業は絶対に電源スイッチのON/OFFで行わないで下さい。トリップの要因になります。(通電後はMIXのON、OFFをご使用下さい)

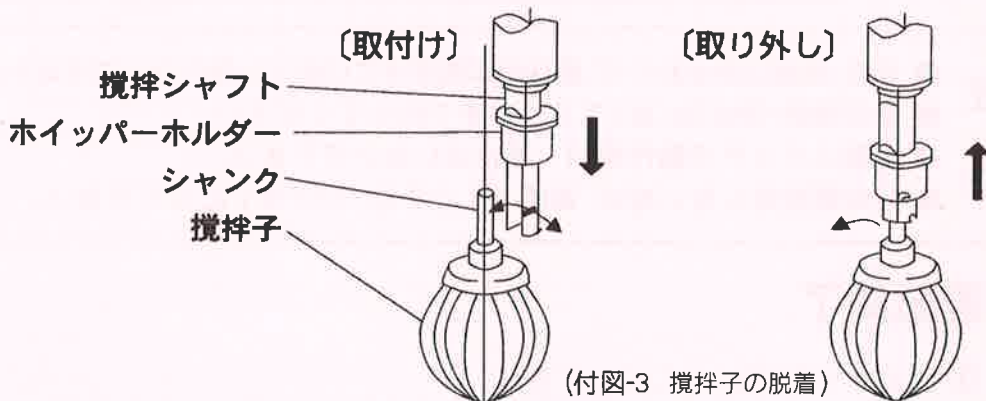
4. 攪拌子の取付けおよび取り外し

① 取付け方法

ミキサーが停止している状態で、使用する攪拌子(ビーター、ホイッパー、フック等)を取り付けます。図の様にホイッパーホルダーを上を持ち上げて攪拌軸シャフトの溝にシャンクのノッチを合わせてから、ホイッパーホルダーを下ろします。

② 取り外し方法

ミキサーの回転が確実に停止したことを確認し、ホイッパーホルダーを上を持ち上げ、シャンクを溝から外して攪拌子を取り出してください。



5. ボウルの脱着方法

① ボウルの取付け

本体のボウルメス座にボウルのボウルオス座を合わせて時計方向に回してください。

ガタの無いように固定してください。

② ボウルの取り外し

ボウルを反時計方向に回して、外してください。



6. 運転方法

- ① 本体の電源コードを、AC100V（単相100V）のコンセントに差し込んでください。
- ② 回転速度および運転時間（1～15分）をセットしてください。
- ③ 攪拌ボウルおよび攪拌子を本体にセットしてください。
- ④ 電源スイッチを「ON」にしてください。
- ④ MIXスイッチを「ST」にしてください。

(*) セットしてある回転数および運転時間に合わせて動作します。
15分以上の連続運転の時は、タイマーを「ON」にしてください。

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 注
意 | ◆ 低速・高速にかかわらず、動作中は攪拌子には絶対に触れないで下さい。 |
| | ◆ 動作開始・停止は、MIXスイッチで行ってください。 |
| | ◆ 電源スイッチで動作開始・停止はしないで下さい。 |
| | ◆ 長時間使用しない時は、電源スイッチを「OFF」にしてください。 |

7. 運転終了

- ① タイマーを「0」にしてください。
（タイマーは、タイマー運転終了時には自動的に「0」になります）
- ② 攪拌子を取り外してください。
- ③ 電源スイッチをOFFにしてください。

8. その他

① 緊急の停止をしたいとき

- (1) 操作パネル上の「MIX. スイッチ」をSTOP
- (2) 操作パネル上の「タイマー」を0
- (3) 操作パネル上の「電源スイッチ」をOFF
- (4) 「安全カバー」を開く

(1)~(4) の
各操作で
動作は停止
します。

② ボリュームと攪拌軸（インターナルピニオンギヤ）の回転数

ボリューム設定と回転数の関係は下表のようになります。

目盛り	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
攪拌軸回転数 (rpm)	0	38	76	114	152	190	228	266	304	342	380

 **ASK MIXER**co.,ltd.